

臓器病態学Ⅲ

授業概要

呼吸器疾患は、感染症、腫瘍、アレルギー、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺疾患、睡眠時無呼吸症候群・呼吸不全の6領域に大きく分類される。研究者育成コースでは各領域のトランスレーショナルリサーチの理解と実践を目的とし、高度臨床医育成コースでは関連学会専門医（日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会、日本アレルギー学会、日本感染症学会、がん治療認定医機構、日本臨床腫瘍学会）取得のカリキュラムに準じて履修し、資格試験に求められる知識を習得する。また、分子内科学の時代の幕開けに対応した、分子呼吸器内科学についての知識を習得する。

担当教員

磯部 威（主担当）	教授・呼吸器・臨床腫瘍学
丸山理留敬	教授・器官病理学
佐野千晶	准教授・微生物免疫学（微生物学）
松本健一	教授・総合科学研究支援センター（生体情報・RI 実験部門）

一般目標 general instructional objectives

1. 呼吸器疾患のトランスレーショナルリサーチの現状について理解する。
2. 呼吸器疾患診療の実践に必要な臨床的知識を獲得する。
3. 呼吸器疾患診療において必要とされる包括的なマネジメントについて理解する。

行動目標 specific behavioral objectives

1. 呼吸器疾患の分子病態学を説明できる。
2. 呼吸器疾患の診断と治療方法を説明できる。
3. 呼吸器疾患の実地医療において求められているものは何であるかが説明できる。

成績評価の方法

講義や演習のレポートによる到達度の評価、ならびに試問

教育内容（講義および演習）

講義：呼吸器画像診断、呼吸器検査法、呼吸器感染症、肺癌の診断と治療、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、びまん性肺疾患、間質性肺炎、急性肺損傷、睡眠時無呼吸症候群、肺結核、非結核性抗酸菌症、肺癌、感染対策、疾患の分子生物学的解析（プロテオーム解析）

演習：呼吸器合同カンファレンス（病理カンファレンスを含む）

がんプロフェッショナル養成基盤推進プランセミナー（関連行事）

呼吸器・臨床腫瘍学セミナー、呼吸器・臨床腫瘍学抄読会

出雲胸部 X 線セミナー、島根感染対策セミナー